

序 章 本業務の目的

(1) 本業務の目的

西国分寺駅は、昭和 48 年に J R 中央線と武蔵野線を結節する駅として開設された。

市は駅開設を機に「西国分寺駅周辺整備基本構想（以下、「構想」という。）」を昭和 54 年に策定し、構想に基づき、駅南口については、駅前広場や道路等の都市基盤や商業施設、いずみホール等の施設整備が実現された。その一方で、駅北口については、現在まで大きな基盤整備等が行われないまま宅地化が進行している。

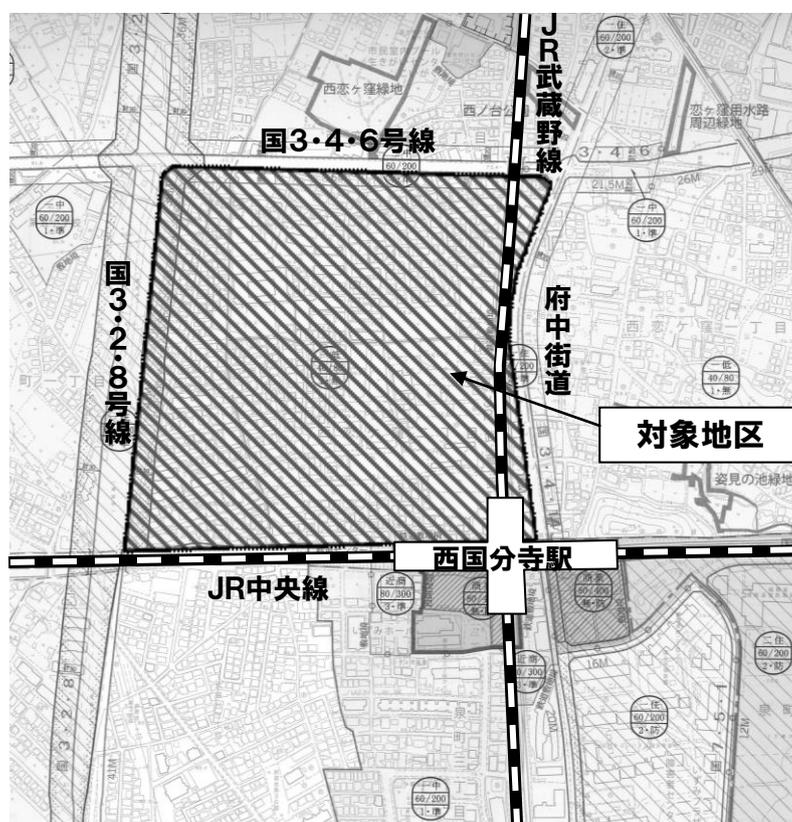
都市計画マスタープランにおいても、西国分寺駅周辺は、都市生活・文化交流の拠点として位置づけており、改めて、社会情勢の変化等を踏まえた今後の西国分寺駅北口周辺のまちづくりについて、地域住民の参加のもと、検討に取り組む必要がある。

本業務は、西国分寺駅北口周辺地区（以下、「対象地区」という。）のまちづくりを進めるにあたって基礎調査を行い、今後まちづくり計画を検討すべき範囲および従前の構想等をふまえた都市基盤整備等の方向性を検討することを目的とする。

(2) 対象地区

本業務の対象地区は、南側は J R 中央線、西側は国分寺都市計画道路 3・2・8 号線（以下、「国 3・2・8 号線」という。）、東側は府中街道、北側は国分寺都市計画道路 3・4・6 号線（以下、「国 3・4・6 号線」という。）に囲まれた範囲（国分寺西恋ヶ窪 2 丁目全域と 3 丁目の一部、国分寺市日吉町 1 丁目の一部と 4 丁目の一部）の面積約 25 h a である。

図序 - 1 業務対象地区

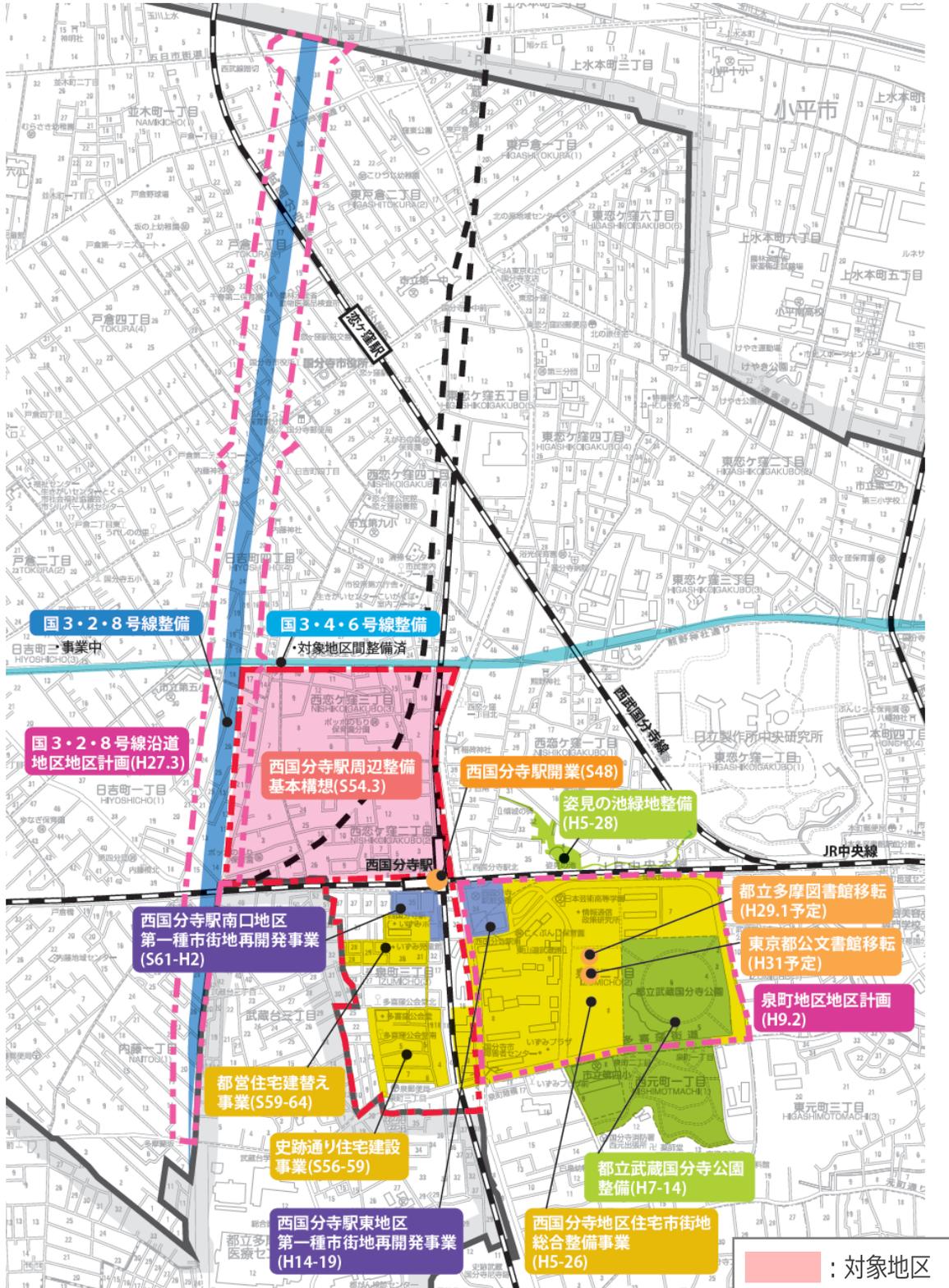


(3) 対象地区周辺におけるこれまでのまちづくりの取組み

西国分寺駅周辺におけるこれまでのまちづくりの取組みを以下に整理する。

今後、都立多摩図書館や東京都公文書館等の文化施設の移転も予定されており、対象地区周辺の基盤整備や施設整備は進みつつある。

図序-2 対象地区周辺におけるこれまでのまちづくりの取組み



図序-3 対象地区周辺におけるこれまでのまちづくりの取組み年表

	計画等策定	再開発事業	住宅整備 事業	公園・緑地整備	公共施設, 文化施設立地	都市計画道路 整備
昭和 48 年 4 月	西国分寺駅開業(S48.4)					
55 年	西国分寺駅周 辺整備基本構 想(S54.3)		史跡通り 住宅建設 事業 (S56-59)			国 3・4・6 号線整備(対象地区沿道整備済) S41-
60 年		西国分寺駅南口 地区第一種市街 地再開発事業 (S61-H2)	都営住宅 建替え事業 (S59-64)			
64 年						
平成元年						
5 年	泉町地区地区 計画(H9.2)		西国分寺地 区住宅市街 地総合整備 事業 (H5-26)	都立武蔵 国分寺公 園整備 (H7-14)	姿見の池緑地整備 (H5-28)	
10 年		西国分寺駅東地 区第一種市街地 再開発事業 (H14-19)				
15 年						
20 年	国 3・2・8 号線沿道まち づくり計画 (H21.9)					
25 年	国 3・2・8 号線沿道地区 地区計画 (H27.3)				都立多摩図書 館移転 (H29.1 予定)	
30 年					東京都公文書 館移転 (H31 予定)	
						国 3・2・8 号線整備 H19-

